

2023年3月期第2四半期（第17期）

決算説明資料

2022年11月14日(月)

株式会社コプロ・ホールディングス
東証プライム・名証プレミア（証券コード：7059）

- 1. 上期業績**
- 2. 通期業績予想の修正**
- 3. 建設技術者派遣における主な取組み**
- 4. 参考資料**

1. 上期業績

2. 通期業績予想の修正

3. 建設技術者派遣における主な取組み

4. 参考資料

連結決算ハイライト

- 売上高・利益ともに予想を上回る。
- 対予想比では、主にコア事業の建設技術者派遣において、退職人数の抑制に加え、採用計画が概ね計画通りに進捗したことにより、稼働人数が計画上振れ。結果、売上高の上振れを主因に、各段階利益は予想を大きく超過達成。

(百万円)

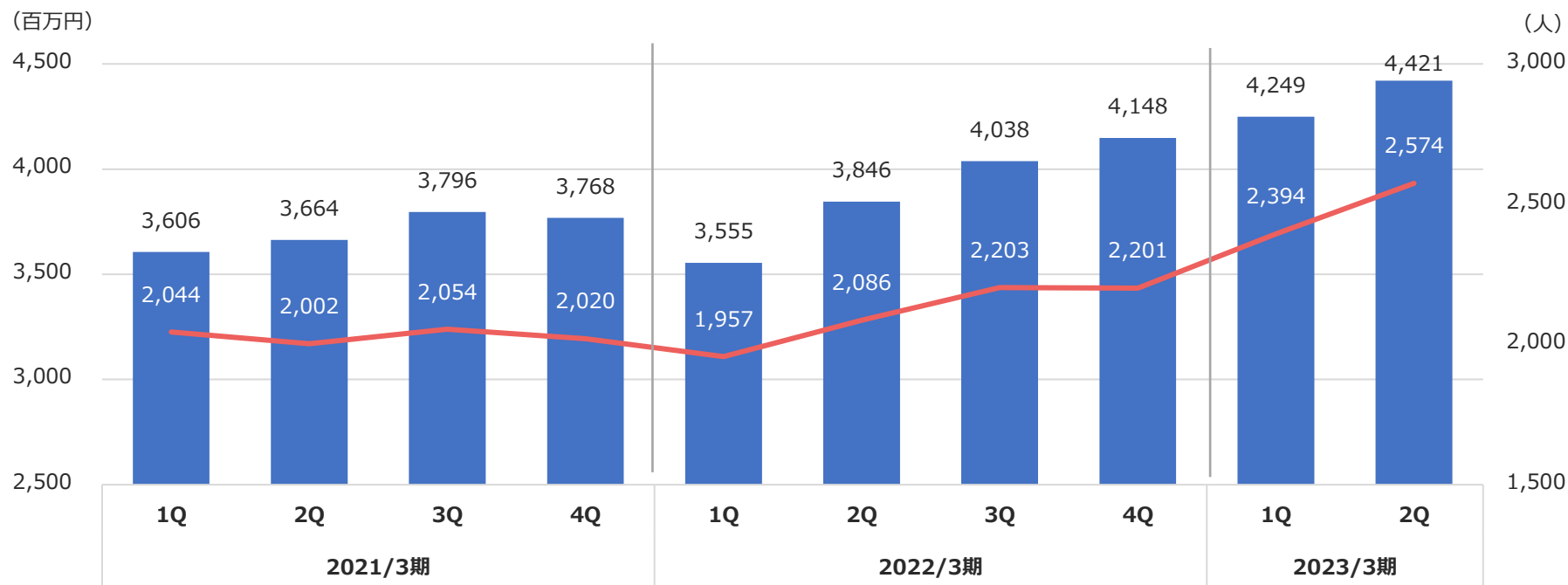
	2022/3期		2023/3期		前期比		予想比	
	上期実績	上期予想	上期実績	構成比	増減率	増減額	達成率	差異額
売上高	7,402	8,144	8,670	100.0%	+17.1%	+1,268	+6.5%	+526
売上原価	5,168	5,662	6,086	70.2%	+17.8%	+918	+7.5%	+424
売上総利益	2,233	2,482	2,583	29.8%	+15.7%	+349	+4.1%	+101
販売費及び一般管理費	1,601	2,193	2,113	24.4%	+32.0%	+512	△3.6%	△79
営業利益	632	289	469	5.4%	△25.7%	△162	+62.2%	+180
Non-GAAP営業利益 [※]	721	427	613	7.1%	△15.0%	△108	+43.6%	+186
経常利益	630	290	472	5.4%	△25.2%	△158	+62.7%	+181
親会社株主に帰属する四半期純利益	328	158	280	3.2%	△14.6%	△47	+77.2%	+122
連結技術者数(期末) [※]	2,086	2,538	2,574	-	+23.4%	+488	+1.4%	+36

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

四半期連結業績

- 第2四半期期間の売上高は、技術者数の増加に伴い四半期ベースで過去最高を更新。



連結売上高	3,606	3,664	3,796	3,768	3,555	3,846	4,038	4,148	4,249	4,421
連結技術者数(期末)	2,044	2,002	2,054	2,020	1,957	2,086	2,203	2,201	2,394	2,574

■ 売上高 — 連結技術者数(期末)

1. 上期業績

2. 通期業績予想の修正

3. 建設技術者派遣における主な取組み

4. 参考資料

通期業績予想の修正

- 通期業績予想は、3Q以降も堅調な需要を見込むが、労働需給のタイト化による人財確保面への影響や、引き続き懸念される新型コロナウイルスの感染再拡大などの景気影響を鑑み、上半期の予想超過分を上方修正し、下半期は期初予想を据え置き。
- 来期2024年3月期に過去最高の売上高・利益の達成を目指し、当期は売上高の伸長を優先。採用費等の先行投資を継続する。

(百万円)

	2022/3期		2023/3期					
	通期実績	通期(期初予想)	通期(修正予想)	構成比	期初予想比		前期比	
					増減率	増減額	増減率	増減額
売上高	15,589	17,854	18,380	100.0%	+2.9%	+526	+17.9%	+2,791
売上原価	10,744	12,354	12,779	69.5%	+3.4%	+424	+18.9%	+2,034
売上総利益	4,844	5,500	5,601	30.5%	+1.8%	+101	+15.6%	+756
販売費及び一般管理費	3,223	4,476	4,397	23.9%	△1.8%	△79	+36.4%	+1,173
営業利益	1,621	1,024	1,204	6.6%	+17.6%	+180	△25.7%	△417
Non-GAAP営業利益 [※]	1,841	1,334	1,521	8.3%	+13.9%	+186	△17.4%	△320
経常利益	1,619	1,024	1,206	6.6%	+17.8%	+181	△25.5%	△412
親会社株主に帰属する当期純利益	962	604	727	4.0%	+20.2%	+122	△24.5%	△235
1株当たり当期純利益	102.12円	65.05円	78.29円	-	-	+13.24円	-	△23.83円
1株当たり年間配当金	40.0円	40.0円	40.0円	-	-	-	-	-
連結技術者数(期末) [※]	2,201人	3,024人	3,024	-	-	-	+37.4%	+823人

※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益に減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術者数はSES事業におけるITフリーランスを含む期末人員数を記載しています。

1. 上期業績

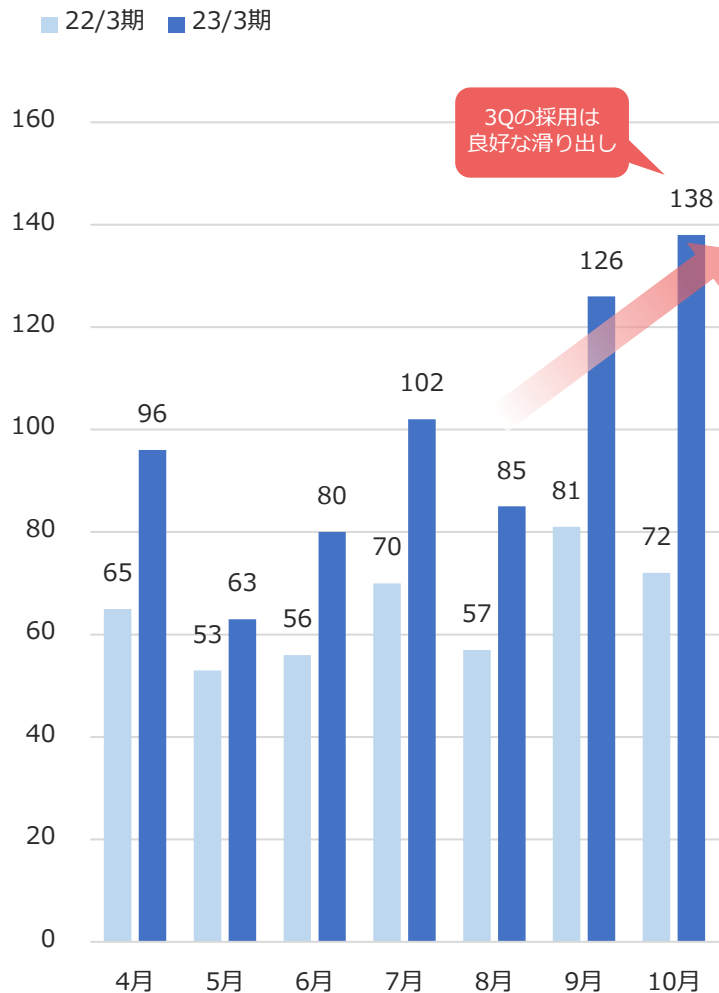
2. 通期業績予想の修正

3. 建設技術者派遣における主な取組み

4. 参考資料

主な取り組み①：採用数の拡大

中途技術者採用数



当期の主な取り組み・進捗評価

- 採用プロセスの指標管理・標準化により基礎行動量を底上げ
 - 建設需要の高い東名阪における人財確保に向け、採用担当の増員のほか、面接設定の専任担当者を配置
- 応募数・採用数は大幅に増加したものの、採用率の低下が課題
→ 下期は採用率の改善に向けた運用の改革を実施中



中途採用PH
45万円
(前期比+108.3%)

- 採用PH(1人当たり採用費)の社内基準を引き上げ、優秀な人財を確保
- 採用率の低下により採用PHが想定以上に上昇



中途採用費
2億48百万円
(前期比+201.0%)

- 中途採用費を通期で4億56百万円、前期比約2倍投入を予定
- 人財の確保を優先したため、採用PHの上昇により、上期の中途採用費は社内予算を超過
→ 下期は採用PHを抑制しながら、採用拡大の取り組みを継続



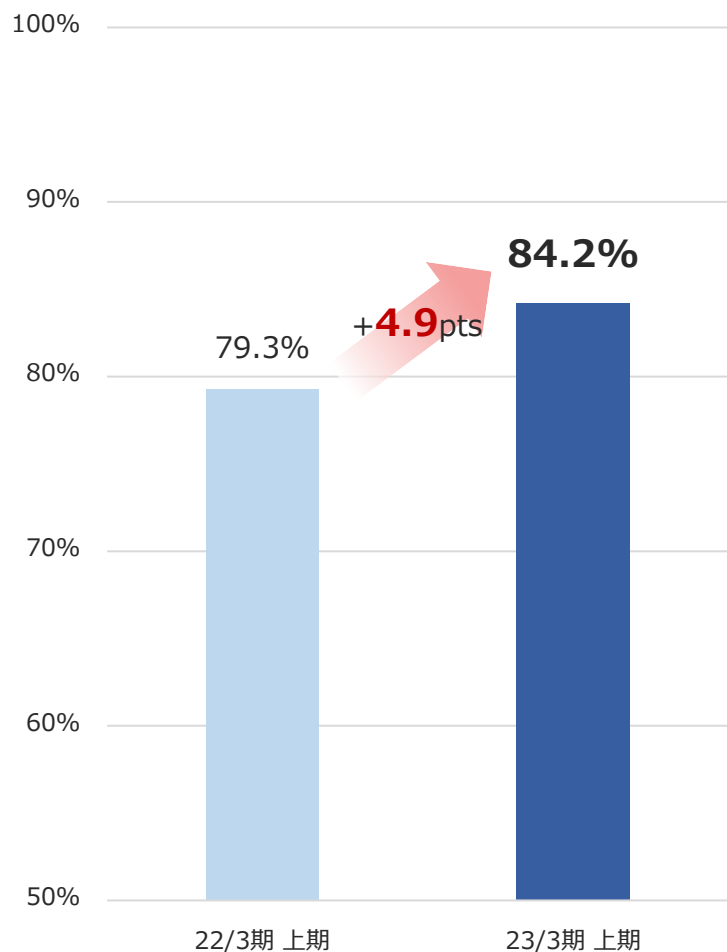
中途採用数
552人
(前期比+170人、
同+44.5%)

- 通期計画1,417人(前期比+639人)の中途採用を予定
- 概ね計画通り進捗。人財確保の点では合格点
→ 10月度の採用数は138人と通期計画達成に向けて3Q滑り出しは良好



主な取り組み②：定着率の改善

技術社員の定着率(今期累計)



当期の主な取り組み・進捗評価

ターゲット企業比率
87.8%
(前期比+3.5pts)

- 工事案件を豊富に有するターゲット企業への配属を促進
- 契約満了時にスーパーゼネコンを始めとした大手企業への優先的な派遣先変更が進展



契約継続率
83.0%
(前期比+4.7pts)

- 同一企業への長期安定した配属により、職場環境の変化を抑制
- ターゲット企業への配属比率の高まりに伴い契約継続率が改善



無期雇用技術者比率
50.0%
(前期比+28.4pts)

- 条件を満たした有期雇用技術者を無期雇用へ転換
- 心理的な安心感から定着率の向上に効果あり。下期も順次転換を推進

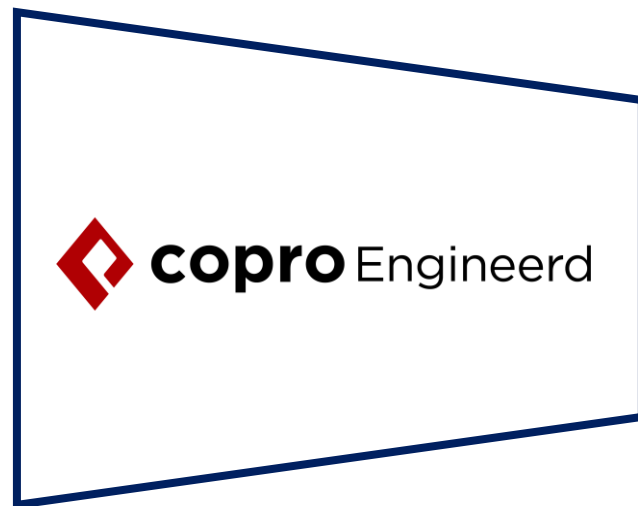


退職人数
381人
(前期比△99人)

- 在籍年次にあわせて強弱をつけ、技術者へのトラスト訪問を強化
- 細やかなヒアリングにより、全体の稼働人数の増加に対して、退職人数は減少



主な取組み③：スパイダープラス社と業務提携を締結



業務提携

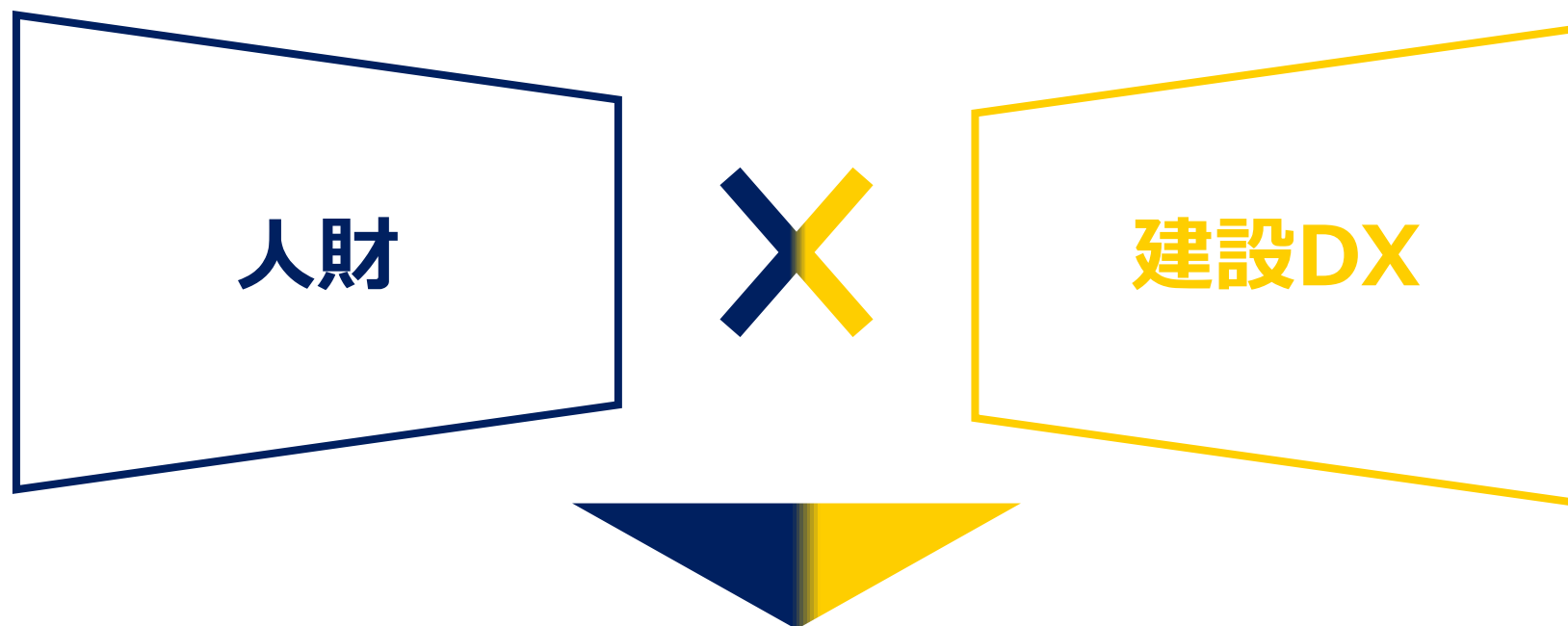
2022.11.14



建設業に対する
人財派遣ソリューション

建設DXサービス
「SPIDERPLUS」の開発・販売

主な取組み③：スパイダープラス社と業務提携を締結



次世代型人財サービス

技術者の市場価値向上

「SPIDERPLUS」の習得による
付加価値の高い人財の供給



DX推進による建設現場の生産性向上

顧客基盤の共有による
「SPIDERPLUS」の導入加速

主な取り組み③：スパイダープラス社と業務提携を締結

業務提携の内容

(1) 技術者向けに「SPIDERPLUS」に関する研修の実施

- 「SPIDERPLUS」に関する研修を入社時等のカリキュラムに組み込み、実際の建設現場のDX化に対応できる即戦力人財を育成
- 毎月100名超の新規配属者を対象に運用を開始し、「SPIDERPLUS」を利用可能な技術者を年間1,000名以上創出
→ 技術者の付加価値向上による同業他社との差別化、並びに顧客への新規提案による配属人数の拡大、派遣単価の向上を見込む

(2) 当社顧客に対して「SPIDERPLUS」を紹介

- 「SPIDERPLUS」の導入を支援するため、当社派遣先の企業・建設現場をスパイダープラス社に紹介
→ 「SPIDERPLUS」の未導入企業・現場における導入速度の加速を見込む



スパイダープラス 会社概要

名称	スパイダープラス株式会社
所在地	東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー27階
代表者	代表取締役社長 伊藤 謙自
事業内容	建設DXサービス「SPIDERPLUS」の開発・販売
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：4192）

1. 上期業績

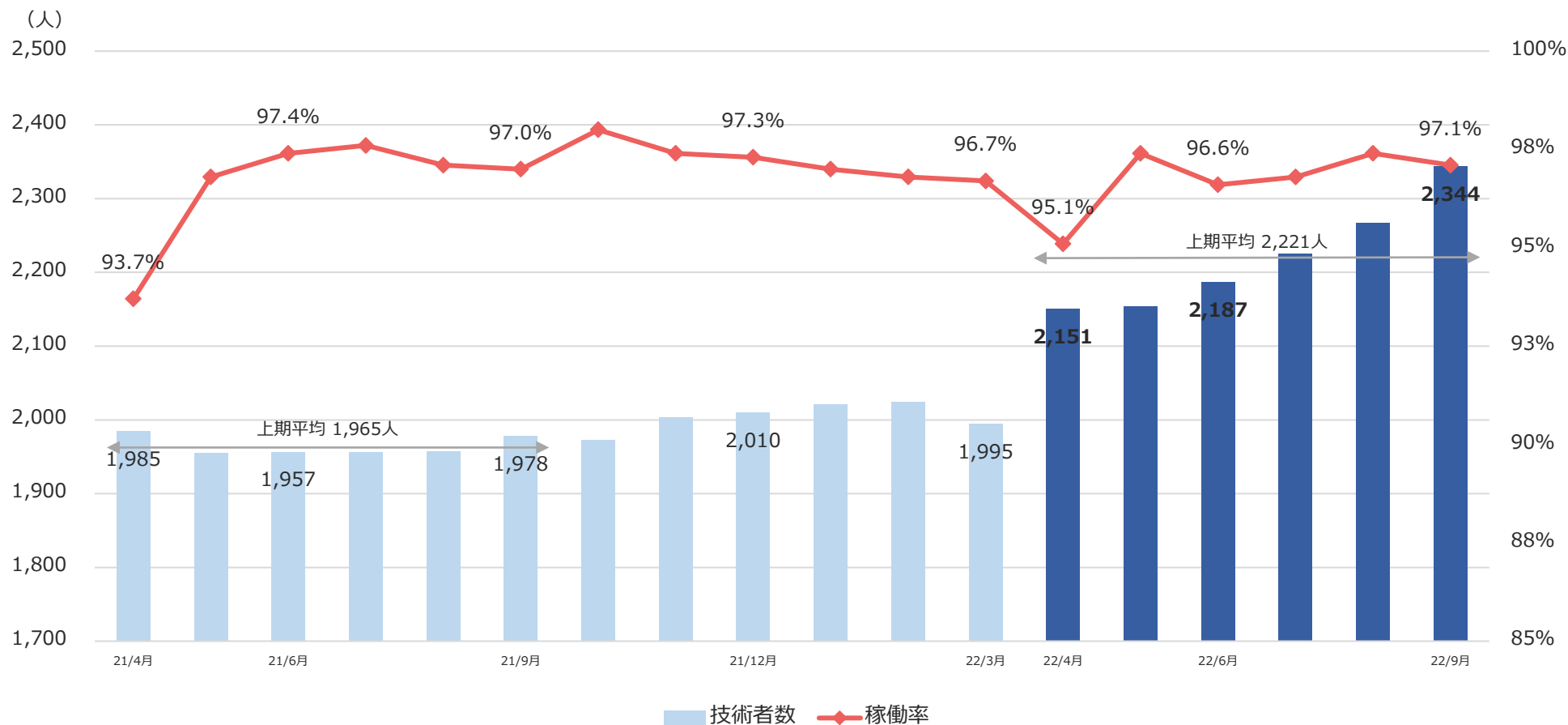
2. 通期業績予想の修正

3. 建設技術者派遣における主な取組み

4. 参考資料

建設技術者派遣：技術者数・稼働率

- 2Q末の技術者数は2,344人(前2Q末比+366人)。採用数増加及び退職数減少による純増に加え、ヒューコス株式会社の労働者派遣事業を2022年4月1日付で承継し技術者122名が移籍。
- 上期累計期間の稼働率は96.7%(前期比+0.1pts)と前期並みで推移。



建設技術者派遣：採用/退職・定着率

- 上期採用数は608人(前期比+170人、同+38.8%)。積極的な採用費の投下により応募数が大幅に増加したほか、応募から面接までのリードタイム短縮や面接実施数の拡大など取組みを強化。尚、2Q採用数は四半期ベースで過去最高を記録。
- 2Q定着率(今期累計)は84.2%と前期比+4.9pts改善。直近1年間のLTM定着率も72.3%と前四半期から0.5pts改善。深耕営業が奏功し、大手ゼネコン等のターゲット企業への配属比率が高まったこと等により、退職数が減少。

技術者の採用・退職数

(単位：人)

	2022/3期						2023/3期			
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	通期(予想)
採用数計	230	208	438	213	183	834	293	315	608	1,501
新卒・第二新卒	56	0	56	0	0	56	54	2	56	84
中途	174	208	382	213	183	778	239	313	552	1,417
退職数計	293	187	480	181	198	859	223	158	381	885
無期雇用技術者	24	25	49	21	24	94	40	49	89	-
有期雇用技術者	269	162	431	160	174	765	183	109	292	-
純増減	△63	+21	△42	+32	△15	△25	+70	+157	+227	+616
M&A等による増加	0	0	0	0	0	0	+122	0	+122	+122
期末在籍人数	1,957	1,978	1,978	2,010	1,995	1,995	2,187	2,344	2,344	2,733

技術者の定着率

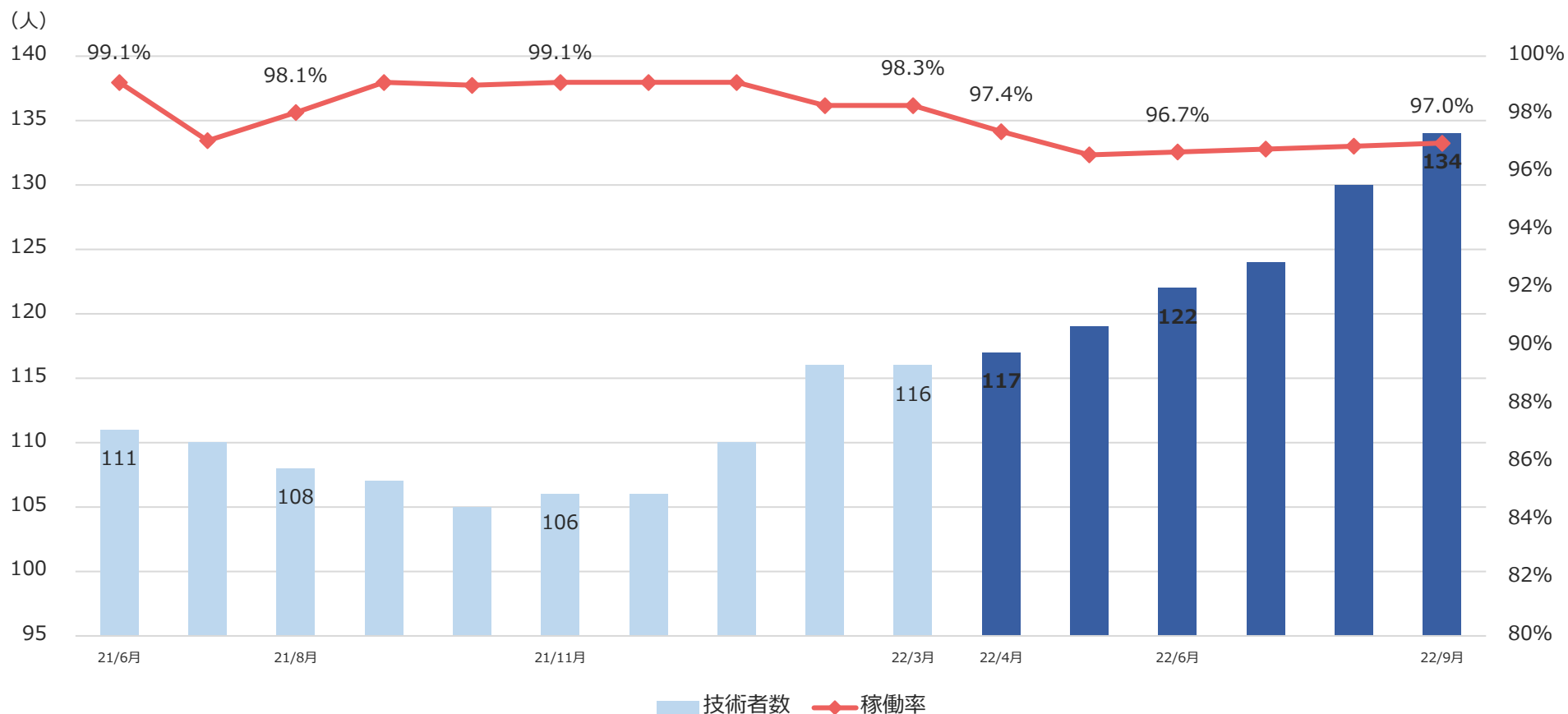
	2022/3期				2023/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
定着率(今期累計)	84.8%	79.3%	74.6%	69.4%	89.7%	84.2%
定着率(LTM)	68.0%	69.5%	69.2%	69.4%	71.8%	72.3%

※ 定着率(今期累計) = 前4Q末に在籍していた技術者のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

※ 定着率(LTM) = 1年前の四半期末に在籍していた技術者の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

機械設計開発技術者派遣・請負：技術者数・稼働率

- 前期より拡充を進めてきた社内体制の整備に従い、採用数が拡大。これにより技術者数は順調に増加。
- 上期累計期間の稼働率は96.9%で推移。未経験者の採用強化に伴う社内研修期間の影響により、稼働率は前期に比べ若干低下。



機械設計開発技術者派遣・請負：採用/退職・定着率

- ・未経験者に加え、メーカー出身のエキスパート人材を中心とした経験者の採用は引き続き順調に推移。
- ・定着率は安定して高い水準で推移。

技術者の採用・退職人数

(単位：人)

	2022/3期				2023/3期			
	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-3月)	通期	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	上期	通期(予想)
採用数計	2	3	15	20	14	23	37	85
新卒	0	0	0	0	1	0	1	1
中途	2	3	15	20	13	23	36	84
退職数計	5	5	5	15	8	11	19	23
無期雇用技術者	5*	4	3	12	7	7	14	-
有期雇用技術者	0	1	2	3	1	4	5	-
純増減	△3	△2	+10	+5	+6	+12	+18	+62
期末在籍人数	108	106	116	116	122	134	134	178

※ 2022/3期4Qは決算期の変更により、2021年12月から2022年3月の4ヵ月間の実績。

技術者の定着率

	2022/3期			2023/3期	
	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-3月)	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)
定着率(今期累計)	95.4%	91.7%	88.9%	93.1%	89.7%
定着率(LTM)	92.7%	90.8%	88.9%	84.7%	85.2%

※ 定着率(今期累計) = 前4Q末に在籍していた技術者のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

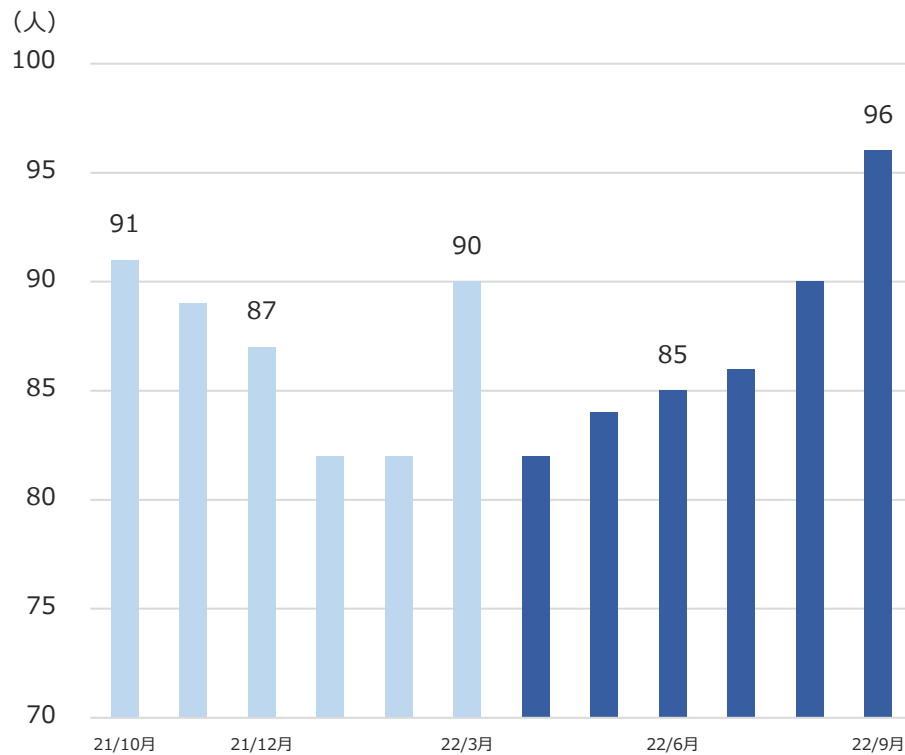
※ 定着率(LTM) = 1年前の四半期末に在籍していた技術者の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

※ 2022/3期4Qは決算期の変更により、2021年12月から2022年3月の4ヵ月間の実績。

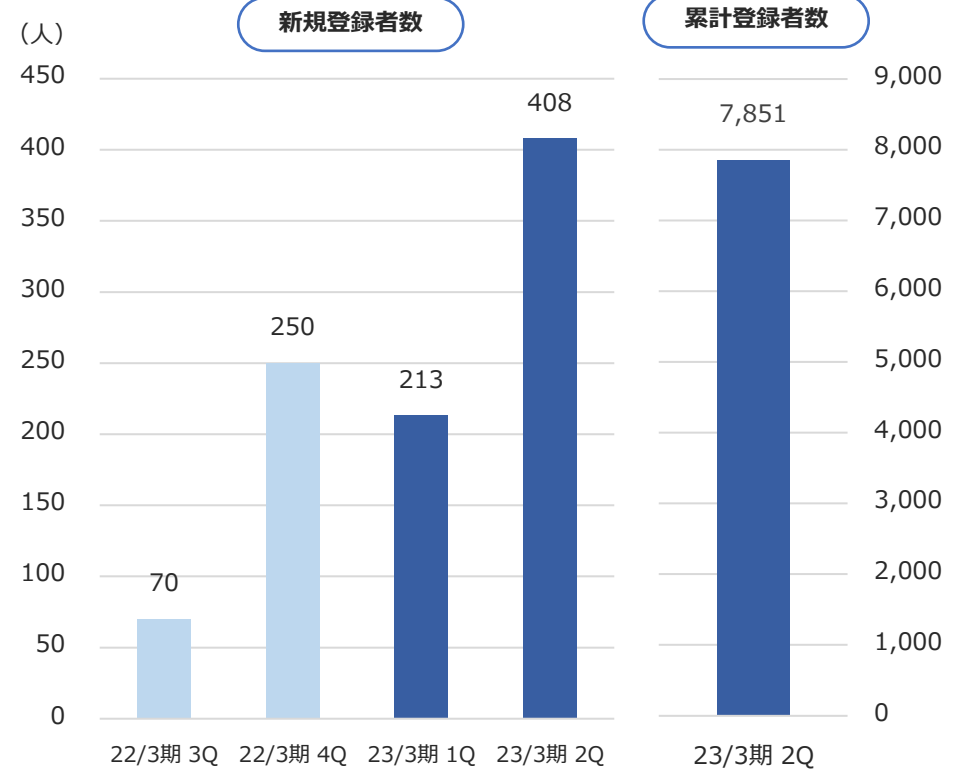
SES：技術者稼働人数・ITフリーランス新規登録者数

- ・応募数が伸長。営業体制の順次強化に伴い稼働人数も順調に増加。

稼働人数



ITフリーランス登録者数



免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資の参考に資するため、株式会社コプロ・ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本資料に関するお問い合わせ・ご質問、お待ちしております】

株式会社コプロ・ホールディングス

経営企画室

<フリーダイヤル> 0120-253-066

※WEBでのお問い合わせは下記当社HPの

質問フォームにてお願いいたします

<https://www.copro-h.co.jp/contact/>

スマートフォン
からも
お問い合わせ
いただけます



IRメール配信
サービスは
こちらから
ご登録下さい

